

国の温室効果ガス削減目標について

平成 27 年 7 月 17 日に地球温暖化対策推進本部（首相官邸）は、温室効果ガスの削減目標について日本の約束草案を決定しました。

2030 年度の削減目標を 2013 年度比で $\Delta 26.0\%$ 約 10 億 4,200 万 t-CO₂ へ
2005 年度比で $\Delta 25.4\%$

目標を 2030 年度とし、実施期間を 2021 年 4 月 1 日～2031 年 3 月 31 日までとしています。目標については 2013 年度基準、2005 年度基準の 2 つを登録することとしています。

また、この削減目標による 2030 年度における各温室効果ガス排出量の目安は以下のとおりとなっています。

温室効果ガス排出量及び温室効果ガス吸収量の目安

【単位：百万 t - CO₂】

		2030 年度の各部門 の排出量の目安	2013 年度 (2005 年度)	2013 年度からの 削減量 (割合)
排 出 量	エネルギー起源 CO ₂	927	1,235 (1,219)	$\Delta 308$ ($\Delta 24.9\%$)
	産業部門	401	429 (457)	$\Delta 28$ ($\Delta 6.5\%$)
	業務その他部門	168	279 (239)	$\Delta 111$ ($\Delta 39.8\%$)
	家庭部門	122	201 (180)	$\Delta 79$ ($\Delta 39.3\%$)
	運輸部門	163	225 (240)	$\Delta 62$ ($\Delta 27.6\%$)
	エネルギー転換部門	73	101 (104)	$\Delta 28$ ($\Delta 27.7\%$)
	非エネルギー起源 CO ₂	70.8	75.9 (85.4)	$\Delta 5.1$ ($\Delta 6.7\%$)
	メタン (CH ₄)	31.6	36.0 (39.0)	$\Delta 4.4$ ($\Delta 12.2\%$)
	一酸化二窒素 (N ₂ O)	21.1	22.5 (25.5)	$\Delta 1.4$ ($\Delta 6.2\%$)
	HFC 等 4 ガス	28.9	38.6 (27.7)	$\Delta 9.7$ ($\Delta 25.1\%$)
	合 計	1079.4	1,408.0 (1,396.6)	$\Delta 328.6$ ($\Delta 23.3\%$)
温室効果ガス吸収量		$\Delta 37$	— —	
排出量と吸収量の合計		1,042.4	1,408.0 (1,396.6)	$\Delta 365.6$ ($\Delta 26.0\%$)

(1) エネルギー起源の二酸化炭素

2013年度比△24.9% (2005年度比△24.0%) の水準 (約9億2,700万t-CO₂)

(2) 非エネルギー起源二酸化炭素

2013年度比△6.7% (2005年度比△17.1%)
(約7,080万t-CO₂)

(3) メタン

メタンについては、2013年度比△12.2% (2005年度比△19.0%)
(約3,160万t-CO₂)

(4) 一酸化二窒素

一酸化二窒素については、2013年度比△6.2% (2005年度比△17.3%)
(約2,110万t-CO₂)

(5) HFC等4ガス

HFC等4ガスについては、2013年度比△25.1% (2005年度比+4.5%)
(約2,890万t-CO₂)

(6) 温室効果ガスの吸収について

吸収源活動により約3,700万t-CO₂ (2013年度及び2005年度総排出量の△2.6%相当)、内訳として森林吸収により約2,780万t-CO₂ (2013年度及び2005年度総排出量の△2.0%相当)、農地土壌炭素吸収源対策(※)及び都市緑化等の推進により約910万t-CO₂ (2013年度比△0.6%相当、2005年度△0.7%相当)の吸収量の確保を目標としています。

※農地土壌炭素吸収源対策…植物残さ等を焼却処分するのではなく土壌へ有機物として投入することで炭素を空気中ではなく、土壌へ貯留させること。

【参考】これまでと今後のスケジュール

6月2日	約束草案(案)発表
6月2日～7月2日	パブリックコメントの実施
7月17日	地球温暖化対策推進本部で草案を決定 国連気候変動枠組条約事務局へ提出
11月30日～12月11日	COP21(パリ会議)開催(予定)